



発行

自衛隊札幌病院
豊友会事務局第77号
令和8年1月

「任務完遂」

自衛隊札幌病院長

陸将 菊池 勇 一

北海道は4回目の勤務となり、約5年前までの副院長在任中は大変お世話になりました。これまでの経験と教訓を活かし尽力いたします。

米中競争の激化、ロシアによるウクライナ侵略の持続、混沌とする中東情勢等、戦後最も厳しい安全保障環境が続いています。この状況を踏まえ、我が国は令和4年12月に戦略3文書を策定し、今年の実行4年目を迎えます。ここに「衛生機能の変革」が掲げられ、防衛省・自衛隊として衛生関連の各種事業に取り組んでいるところです。第一線救護能力の強化、衛生学校における新たな集合教育の開始、血液関連事業等については皆様もご承知のことと存じます。その中で、当院は自衛隊衛生の人材育成拠点、かつ北方の基幹病院として機能発揮しなければなりません。現状と今後の情勢変化によっては、当院に新たな任務が付加されるかもしれませんが、災害等も含め、いつ、いかなる任務が与えられようとも即応し最後まで成し遂げられる組織を創造するために、統率方針を「任務完遂」として職員とともに精進してまいります。これを実現するために職員への要望の一つを「前進」としました。今年午年は、まさに前進・飛躍の年とされています。現状に満足することなく、常に前を向いて走り続けますので、引き続きのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

明けましておめでとうございます。

豊友会の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。この度、第30代自衛隊札幌病院長を拝命いたしました。開院70周年、真駒内移駐10周年の節目の年に病院長として着任することは光栄であるとともに、その伝統と重責に身の引き締まる思いです。



「進むべき道を求めて」

自衛隊札幌病院豊友会

会長 今井 智 仁

皆様、新年あけましておめでとうございます。

昨年、札幌病院は創立70周年という大きな節目を迎え、病院の発展に尽力された多くの方々が一堂に会しました。歴史を振り返り、その歩みを再確認できたことは、私たちにとって大きな励みとなりました。

同時に、社会や政治が大きく揺れ動いた一年でもありました。その背景には、私たち一人ひとりが情報との向き合い方を変え始めたことがあるのではないのでしょうか。かつては疑うことなく受け入れていた情報が、実は偏っていたり、一側面しか伝えていなかったりするのではないかと——多くの人がそう感じ始めています。市民が自ら情報を集め、発信できる時代になったことで、上から与えられる情報だけでなく、社会の隅々に埋もれていた声にも触れられるようになりました。その中から自分の感覚に合うものを選び取り、納得できる形で理解しようとする姿勢が広がっています。結果として、これまで見抜けなかった偽情報を見破る力も育ってきたように思います。

こうした変化は政治の世界にも及び、長く動かないと思われていたものが少しずつ変わり始めています。大きな船が進路を変えるには時間と力が必要ですが、進むべき方向を求め続けなければ、未来は開けません。今こそ、あるべき姿を明確にし、変革を後押しする時期だと感じています。

世界が実体の乏しいマネーゲームに翻弄される中で、私たちは何を大切にすべきかを見極め、足元をしっかりと固めることが求められています。確かな価値を見失わず、着実に歩みを進める一年にしていきたいと思えます。

副院長・各部長 年頭のご挨拶



総務部長
1等陸佐 岡本 宗典

新年あけましておめでとうございます。昨年は、札幌病院創立70周年の節目となる記念行事に際して豊友会から過分なるご支援と協力を賜り、厚く感謝申し上げます。おかげをもちまして多くのご来賓のご臨席のもと、厳粛かつ盛大に行事を執り行うことができました。本年も豊友会皆様からのご指導・ご鞭撻を得て、病院の良き伝統を継承しつつ心の通う信頼される病院として更に充実・発展していけるよう基盤の確立に精進して参りたいと思っております。末筆ながら本年も豊友会の皆様にとって素晴らしい年となりますことをご祈念申し上げます。



副院長
陸将補 小俣 二郎

新年あけましておめでとうございます。旧年中は豊友会の皆さまにおかれましては、自衛隊札幌病院に対して創立70周年記念行事をはじめとすご支援を賜りましたこと心より感謝申し上げます。今年も引き続き隊員、家族、地域の皆様が安心して受診できる病院の核となるべく、診療科一同努力して参ります。どうぞよろしくお祈り致します。

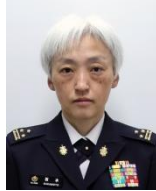
今年も引き続き隊員、家族、地域の皆様が安心して受診できる病院の核となるべく、診療科一同努力して参ります。どうぞよろしくお祈り致します。

昨年の自衛隊札幌病院は変革と挑戦を合言葉に、産婦人科・小児科病棟の開棟と分棟再開、救急輪番の強化、オンライン診療の試行、衛生科隊員の科技術向上のための施策、医療情報システム換装、健康管理、医療安全・ハラスメント対策等、多くの課題に取り組んだ1年でした。



2等陸佐 宮北 和歌子

新年あけましておめでとうございます。昨年は、札幌病院70周年という節目を迎え、良き伝統の継承と今後の新しい時代に沿った変革への対応を考えた1年となりました。また、医療機器は、昨年度も循環器用超音波診断装置等多くの器材が更新し、次年度もCT装置の換装が予定されています。一方、診療への影響が避けられない院内各部署との連携により衛生資材部一同、院務基盤を維持していく所存です。本年も変わらぬご支援をお願い申し上げます。



1等陸佐 坂本 直子

新年あけましておめでとうございます。感染症対応は日常の一部となりましたが時々猛威をふるい、臨床はこれまでどおり、訓練もこれまでどおりからやや増加、任務は緩やかに増加しつつあります。人の動きをふまえたつとも、特に診療を継続しておこなわなければならないのが病院の任務ですので、人も機器も大事に、更新された機器に対しては、予算に感謝しつつフル活用し、更新がまだの機器はいたわりながらフル活用し、引き続き業務を確実に実施していきたいと思っております。宜しくお願い致します。



1等陸佐 吉田 昌功

新年あけましておめでとうございます。昨年8月から先任診療科部長に上番しました。札幌病院勤務は二回目、約二十年前、旧病院の時には皆様にたいへんお世話になりました。そして今、新病院の規模と美しさに驚愕しての尽力により分棟が再開しました。久しぶりにも赤ちゃん顔を拝見し、心が癒されました。今年も引き続き隊員、家族、地域の皆様が安心して受診できる病院の核となるべく、診療科一同努力して参ります。どうぞよろしくお祈り致します。



1等陸佐 龍城 敏孝

新年あけましておめでとうございます。昨年は皆様のご支援のもと、医療安全管理の運用を効率化するのと同時に、院内における患者様の急変を未然に防ぐ「院内迅速対応システム」を導入しました。また分棟再開に合わせて、産科における母子の感染対策を見直す等、充実した1年となりました。今年も引き続き、さらには安全安心な医療を提供できるよう日々精進してまいります。今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



1等陸佐 本間 健一

新年あけましておめでとうございます。自衛隊衛生の核となる看護学生の教育に携わる重責と、その成長を近くで見守ることが出来る歓びを日々感じています。昨年の山行行進訓練では恵庭岳に臨みましたが、「熊」出没情報を直前まで注視しつつも無事登山できました。部外医療施設の現地教育では、札幌病院OBの先輩にもご指導を頂く機会があり、学生の良い学びの機会となりました。2月10日には49期がいよいよ准看護師試験に臨みます。これからも「学院一丸」で「日々前進」してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



看護部長
1等陸佐 九頭龍坂 秀子

新年あけましておめでとうございます。日頃より温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。就任して今年も2年となり、改めて皆さまが築いてこられた伝統と努力の重みを感じております。今年も、患者さんに安心と信頼を届ける看護の実践と、職員がいそいそと働ける職場づくりに努めてまいります。今後とも変わらぬご指導とお力添えをお願い申し上げます。本年が皆さまにとって健やかで実り多い一年となりますよう祈念いたします。

各課長等 今年の抱負



計画幹部 2佐 中村智志



新年あけましておめでとうござい
ます。
今年は、方面隊として大きな訓
練が計画されており、病院として
も例年以上に忙しい一年になると
思います。地に足をつけて何事も
『うま』くいき力強く飛躍する年
となるように企画室一同尽力する
所存です。
本年も変わらぬ
ご支援とご指導を
賜りますようお願い
申し上げます。



医事課長 3佐 杉坂秀樹
新年明けましておめでとうござい
ます。皆様には健康やかに新春をおえ
のこととお喜び申し上げます。旧年
中は多大なるご協力を賜り、心より
御礼申し上げます。本年も当然にお
越しの皆様が安心して受診してい
ただけるよう、思いやりの気持ちを大
切に総合受付・会計窓口・地域の医
療機関等と連携して
から業務を実施して
いきます。
本年もご指導、ご
鞭撻のほどよろしく
お願いいたします。



衛生資材課長 3佐 野原良介
明けましておめでとうござい
ます。衛生資材課は医薬品、衛
生材料の補給、医療機器の整備
等を行い札幌病院の安全安心な
診療を支えております。
本年も心の通う信頼される病
院の一助となるよう補給整備
の面で尽力して
参ります。
どうぞよろしく
お願いいたします。

ICT幹部 3佐 佐藤真裕美



札幌病院での感染管理担当とし
て3年目を迎える今年も、職員の一
皆様が患者さんの安全を最優先に
現場に寄り添った感染対策に取り
組んで参ります。さらに多職種連
携の架け橋となり、より実践的
効果のある感染対策を推進しつづ
安全な医療環境の整備に努めてい
きたいと思いま
す。
本年もどうぞ
よろしくお願
い
致します。



健康管理課長 2佐 上田俊秀
新年明けましておめでとうござい
ます。政権も変わり、社会保障
費の増大とあわせて医療の在り方
そのものが見直されていくと予想
されます。その際に生き残るのは
社会の役に立つ事をやっている者
と考えます。努力ではあります
目的の仕事を
着実にやってい
きたいと思いま
すのでよろしく
お願いいたします。



薬剤課長 3佐 徳増尚子
あけましておめでとうござい
ます。薬剤課は今年度3名の人員の入れ
替わりがありました。フレッシュな
人員を迎えた薬剤課は、新年の目標
を「健康」として頑張っていきたい
と思っております。
病院の診療基盤の維持のため、薬
剤課一同引き続き
精進してまいりま
すので、よろしく
お願い申し上げま
す。

総務課長 3佐 小林寛明



新年あけましておめでとう
ござい
ます。
既存の枠を見直す『破壊』と
新たな価値を築く『創造』と
を意識し、総務課として果敢に
挑戦します。
病院の基本理
念である「心の
通う信頼される
病院」を追求し
て頑張ります。



放射線技術課長 1尉 荒和秀
謹んで新春の慶びを申し上げます。
豊友会の皆様には平素より多大な
るお力沿いを賜り感謝申し上げます。
昨年は放射線及び理学療法ともに
最大限に質の高い医療を提供でき
よう前向きに取り組んでまいりま
した。今年には新たに更新される放射線
検査器材もあり
先端技術を提供す
ることができよう
課員一丸となり
任務にまい進し
てまいります。



臨床薬剤課長 3佐 小山知徳
本年も日々の業務を丁寧にこ
なし、身近な改善点を一つずつ
見直しながら、臨床薬剤業務が
円滑に進むように心がけたいと
思います。
臨床薬剤課は「並足」で必要
に応じて柔軟に対応しながら
入院患者の皆様と
着実な服薬指導と
医薬品情報を提供
してまいります。

会計課長 3佐 齊藤 祐



新年あけましておめでとうござい
ます。昨年8月より上番し、約半年
が経過しており、豊友会員の皆様
の平素からのご助力をいただき新年
を迎えることが出来ました。
新年を迎えるにあたり「心の通う
信頼される病院を少しでも具現実行
できるような会計支援」の追究を
目標としていく所
存です。
本年も変わらぬ
ご支援宜しくお願
い致します。



研究検査課長 1尉 梅内久嗣
新年あけましておめでとうござい
ます。
今年も午年、特に丙午（ひのえ
うま）ということで、エネルギー
シユで活動的になる年と言われて
います。課長の中では新参者であ
りますが、若さと勢いを長所とし
新しいことに挑戦していくことを
抱負としてご換
拶とさせていただきます。
本年もよろしく
お願いいたします。



第1看護課長 2佐 秩父千春
新年あけましておめでとうござい
ます。
今年も丙午（ひのえうま）、
情熱と行動力で突き進む年と言
われています。私も3月の定年
退官に向けラストスパークを
かけ、ばん馬のようにたくましく
走り抜きたいと
思っています。
今年も看護部
をどうぞよろしく
お願いいたし
ます。

管理課長 1尉 服部 竜太



新年あけましておめでとうござい
ます。
管理課は本年も課内一致協力し
合規適正な業務、官用車の安全運
行を実施するとともに、車両、施設
設備等の平素からの愛護、メンテナ
ンス又は更新を各部課等との調整・
協力をもって行い、診療環境の基盤
の安定を維持する
よう尽力してまい
ります。
本年もよろしく
お願い致します。



栄養課長 1尉 村田 憲章
病院給食部門として、丙午の
2026年新たな躍進の年に相応
しく、より安全で心の籠った食事
提供に努めてまいります。
患者の回復を食から支える使命
を胸に、課一丸となり効率改善と
品質向上に取り組みます。
本年も変わらぬ
ご支援をよろしく
お願いいたします。



第2看護課長 2佐 鴨田のぞみ
新年あけましておめでとうござい
ます。
8月1日付で第2看護課長に上番
しました。昨年は8月1日から分娩
を再開することができ、新たな命の
誕生に関わることができたこと、大
変嬉しく思っています。
今年も看護部一丸となって、「心
のこもった信頼さ
れる看護」を提供
できるよう努めて
まいります。
本年もよろしく
お願いいたします。



《行事紹介》

病院長着任行事

令和7年12月17日(水)自衛隊札幌病院は、病院長着任行事を執り行い、新たに菊池勇一陸将が第30代病院長に着任した。

着任に際し、菊池病院長は、統率方針として「任務完遂」を掲げ、自衛隊病院に課せられた基本的任務に加え、今後は人材育成拠点として方面隊内外を問わず衛生科隊員の人材育成に重点を置き、如何なる事態においても適応し得る医療体制を堅持し、即応性をもって最後まで任務を成し遂げられる組織を創造するという強い意思を職員に示した。

また、「前進」及び「連携」の2点を要望した。「前進」とは、医療の世界が日進月歩と言われる中で、我々を取り巻く環境も目まぐるしく変化し、現状に満足する事が、“後退”を意味することだと認識させ、「風が吹いた時に前進できるのは、常に危機意識をもって準備を怠らず、帆を張っているからである。」と職員に話され、病院機能を更に強化するため、職員一人一人がやるべきことを考え一歩でも前進することを意識するよう求めた。「連携」については、方面隊全体の衛生活動の実効性を向上させるため、各部隊及び隊員等のニーズを積極的に院務に反映させるとともに、部内外の関係各所及び地域との連携を密に強化させ、各種事業を推進していく考えを示した。

自衛隊札幌病院は、今後、菊池病院長が掲げる統率方針の下、全職員が一丸となって職務に精励し、自衛隊衛生の一翼を担う組織として、如何なる任務に対しても確実に応え得る態勢の確立に万全を期するとともに、隊員及び国民にとって「心の通う信頼される病院」としてさらなる発展を遂げて行くことを胸に誓った。



病院長初登庁 (出迎え)



第30代札幌病院長菊池陸将



執行者に荣誉礼



初度巡視 (6A病棟)



初度巡視 (免震構造)



記念撮影

前列左から先診部長・副院長・菊池病院長・総務部長・准看学院長
後列左から診療技術部長・看護部長・衛生資材部長

《訓練紹介》

自衛隊札幌病院准看護学院 (学院長 本間 1 佐) は、令和 7 年 9 月 5 日 (金) 第 2 回行進訓練 (恵庭岳 (標高1397.7m) 山地機動) を実施した。第 50 期生 28 名は、山地機動をとおして、徒步行進能力の向上、気力・体力及び団結心の強化を着眼に、急勾配、不整地等における行進要領、行進間における衛生救護活動を練成し、衛生救護陸曹として必要な識能を高めた。



【絶壁を這い上がる】



【絶景?を眺め、ひと休み☆】



【険路を笑顔で綱登り】



【激励 (右:副院長)】

『准看護学院』

恵庭岳山地機動訓練 (第50期生)



【50期生と教官みんな笑顔で踏破!!】

『SHGC便り』

【令和7年第6回ゴルフコンペ集合写真】



【表彰式】



SHGC (札幌病院ゴルフクラブ) は、令和 7 年 10 月 12 日 (日曜日) にシャトレーゼ栗山 (栗山町) において、令和 7 年第 6 回ゴルフコンペを開催しました。

中秋の晴天の下、参加選手 19 名が実力を遺憾なく発揮して、和気あいあいと楽しい雰囲気の中、盛会のうちにコンペは終了しました。終了後昼食会を兼ねて表彰式を執り行いました。コンペ結果は、優勝の津村直実さんと準優勝の吉田也志守さんが他を大きく引き離して受賞となりました。優勝コメントで津村さんは、「皆様のおかげで長年の積み重ねの成果が今年ようやく実を結びました。今後も楽しく上達していきたい。」と今後の抱負を含め、優勝コメントを頂きました。SHGCコンペは年間の 5 月から 10 月まで月 1 回を基準に開催しています。身体を動かしながら、いろいろな方とコミュニケーションをとれるゴルフと一緒に快い汗を流しませんか。

豊友会員皆様のご参加をお待ちしております。

文責 豊友会員 中田 浩嗣

豊友会事務局便り

事務局長 小林 誠

1 事務局長挨拶

新年あけましておめでとうございます。

令和7年は、終戦80年の節目の年であり、アメリカではトランプ大統領政権が発足し、日本においては高市内閣総理大臣が就任するなど、我が国の防衛の重要な基盤である日米安保体制が、さらに強化された年であったと感じております。また、自衛隊札幌病院におかれましては創立70周年および病院移転10周年という大きな節目を迎えられ、豊友会といたしましても、70周年記念行事支援として記念植樹ならびに祝賀会の支援をさせていただき「心の通う信頼される病院」を支援する思いを新たにしたい一年でございました。

令和8年が、自衛隊札幌病院ならびに豊友会会員の皆さま、そしてご家族の皆さまにとりまして、素晴らしい一年となりますよう心より祈念申し上げます。あわせて、今後とも変わらぬご指導、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2 活動状況等

(1) 事務局会議

毎月1回、第3水曜日19時からを基準に事務局において各種調整、会誌の準備・発送、役員会の準備等を実施いたしました。

(2) 豊友誌の発行

年2回発行（新年号・夏号）

(3) 慶弔等

記念品贈呈（米寿1名、叙勲3名）

(4) 令和8年役員会の予定

時期 令和8年4月上旬、場所 自衛隊札幌病院

3 令和7年度後期新入会員（令和7年8月～12月）

吉積 司 様（先任診療科部長）、漆館 直樹 様（看護部）

4 連絡事項

(1) メール等による連絡について

豊友会のメールアドレスを変更いたしましたので、お知らせいたします。メール配信の設定をされている会員の方は、通知拒否設定の解除についてご確認くださいようお願い申し上げます。

豊友会メールアドレス：houyu20070619@gmail.com

また、豊友会会員の皆さま向けにグループLINEも開設しております。

スマートフォンのLINEアプリを起動し、ホーム画面から左記QRコードを読み取っていただき、グループLINEへご参加ください。

なお、メールアドレスを変更された方、新たにメールアドレスを登録される方、グループLINEにご参加される方につきましては、ご本人確認のため、氏名を明記のうえ送信いただきますようお願いいたします。



(2) 豊友会誌への記事投稿についてのお願い

豊友会誌では、会員の皆さまからの掲載記事を募集しております。

内容は、A4用紙1枚程度を目安に、趣味のお話やこれまでの経験談、職場のご紹介、会員間の交流、回顧録など、ジャンルは問いません。皆さまの思いや情報を発信する場として、ぜひご活用いただければ幸いです。投稿記事は、下記宛てにお送りください。多数のご投稿を心よりお待ちしております。

☆ 投稿は、下記のメールアドレスへご送信お願いいたします。

メールアドレス：houyu20070619@gmail.com

(3) 会費の納入について

年会費は、2,000円となっております。新年会・懇親会等に参加される方は、当日、会場にて現金払いでもお受けいたしますが、会費は、可能な限り次の口座へお振込みくださいますようお願いいたします。

金融機関名	ゆうちょ銀行
口座種類	普通貯金
郵貯銀行から	記号19090 口座番号21181151
他の金融機関から	店番908 口座番号2118115
(フリガナ) 口座名義	(ジエタイサッポロビョウインホウユウカイ) 自衛隊札幌病院豊友会

※ お振込みの際は、依頼人名の欄にご自身の氏名を必ずご記入ください。また、振込手数料は会員様負担でお願いします。